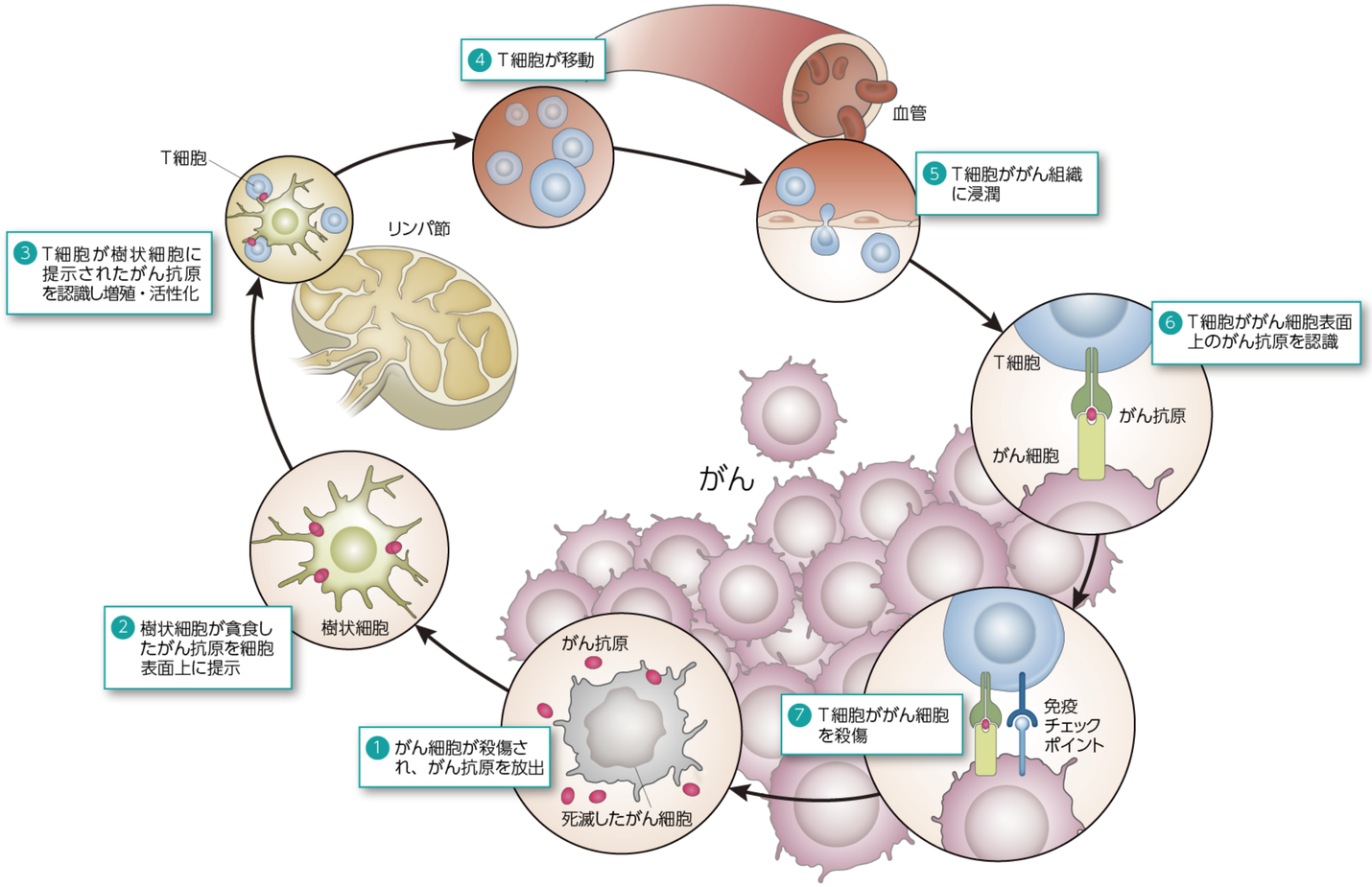
BrightPath Biotherapeutics Co., Ltd.

ブライトパス・バイオ株式会社

ブライトパス・バイオは、従来の標準治療の適用が困難な難治性・進行性のがんに対する治療に革新をもたらした「がん免疫」を作用メカニズムとする新規がん治療薬の研究開発を手掛ける創薬バイオベンチャーです。
2016年以降、LIC内に創薬研究所を開設して「がんワクチン」「細胞医薬」「抗体医薬」の3つの形態のがん免疫治療薬の研究開発を進めています。

リード開発品のがんペプチドワクチンGRN-1201は、非小細胞肺がんを対象に米国でフェーズ2の臨床試験を実施しています。また、iPS細胞技術をもとに創製されたiPS-NKT細胞療法は、現在頭頸部がんを対象に医師主導治験が開始されています。そのほかにも、自家CAR-T 療法のBP2301、免疫制御分子に対する抗体シードのBP1200とBP1210ほか、さらには、がん細胞特異的な遺伝子変異に由来するネオアンチゲンを標的とした完全個別化がんワクチン療法など、当研究所から国内のさまざまな研究機関と連携し、開発を進めています。

BrightPath Biotherapeutics

会社概要
創立　2003年5月
本社所在地　東京都千代田区麹町二丁目2番地4
代表者　永井健一
www.brightpathbio.com

がん免疫を成立させる7つのステップ